レースにあたっての審判上の諸注意

第 38 回全国高等学校選抜ローイング大会（2026/11/14-15 天竜ボート場）

今大会は、日本ローイング協会競漕規則および大会要項に基づいてレースを運営しますが、この代表者会議での承認事項、以下の諸注意や追加の適用事項等を守り、レースに臨んでください。

１ 健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、万全の状態でレースに参加できるよう心がけてください。またさまざまな感染症への対策（手洗いや消毒など）は各自で十分におこなってください。体調不良等の場合は、最寄りの審判員もしくは役員に申し出るなり、配艇場の救護所を利用してください。まだまだ気温も水温も低い時期ですから、これらへの対策も怠らないよう気をつけてください。

２ 事故防止と安全確保について

（1）各クルーおよび参加者は事故のないよう常に安全確保に努め、安全第一で行動してください。安全については、各クルーがまず自主的に対策を十分に施してください。

（2）出艇時にはコースを横切ることになるので、レースの状況を注視するなど、安全に十分に注意してください。

（3）レース前の練習については、練習水域での航行ルールを守り、周囲の安全を確認の上、注意して行ってください。決められた水域以外には行かないこと。また、気象の変化や風・波等に注意し、大会本部・役員から指示があればこれに従ってください。

（4）スタート地点への回漕中、レース艇が来たときは、必ず 100m手前で止まり、レース艇が通過するのを待ってください。これに違反するとイエローカードを与えます。

（5）レース中、クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合、レースを中止することがあります。クルーの安全を第一に考えたレース運営を行うことを理解しておいてください。

（6）４ｘ＋の舵手はライフジャケット（ウエストポーチ型は不可）を必ず着用しレースに出漕してください。

３ 各種手続き(届け出)について

（1）棄権・メンバー変更・ブレード変更の手続き（届け出）は、競漕委員会へ定められた時間までに所定の手順に沿って行ってください。但し、メンバー変更については大会１日目予選の監視を受ける前までに必ず行うようにしてください。

（2）シート変更（漕手間の変更）については事前に届け出る必要はありません。監視の際に申し出てください。

４ 監視と舵手計量について

（1）大会１日目予選の監視は所定の監視所で行います。配艇場ごとに設置していますので、出漕種目に応じて該当場所で受けて下さい。出漕するレースの２時間前から１時間前までに、オール（１本）を持ち、レースに出漕するユニフォームや服装で、クルー全員がそろって来てください。その際に、４ｘ＋は舵手の計量も行います。舵手はライフジャケットを持参してください。

（2）２日目以降の監視は各クルーとも、レースのたびごと出艇する際に桟橋で行います。ユニフォームや服装の確認も行いますので、監視の審判の指示に従ってください。監視を受けずに出艇することはできません。

（3）舵手の計量は毎日、出漕する最初のレースの２時間前から１時間前に監視所（舵手計量所）で行います。舵手の計量はユニフォームのみで行います。

（4）大会１日目予選の監視について、規定の時間内に受けなかったクルーにはレッドカードを与え、予選から除外します。また１日目を含む毎日の舵手計量は、規定の時間を過ぎることは認められず出漕できなくなりますから、どちらも時間を厳守してください。なお、この件に関する呼び出しの放送は行いませんので、各クルーとも十分に注意しておいてください。

５ ユニフォームの統一について

（1）各クルーとも統一したユニフォームを着用し、不ぞろいな服装をして出漕してはいけません。アンダーシャツ・タイツ・靴下等も統一して下さい。統一されたユニフォーム・同じ服装とは、「外見がまったく同じもの」ということですから、とくに色あせ、迷彩模様・幾何学模様等の服装は注意してください。また個人名・イニシャルやポジション名の記載等は認められません。なお、、舵手については統一したユニフォーム・服装に加えて防寒具等の着用を認めます。

（2）帽子・はちまきについてはクルー内で着用する者としない者があっても可とします。但し、着用する場合は漕手・舵手とも同じものを着用しなければなりません。

６ コースへの進入について

前のレースがスタートし100mを通過し、スタートエリアの安全が確認されたのち、発艇員は次レースのクルーをコースへ呼び込みます。その呼び込みを受けてから、指示されたレーンに速やかに進入してください。前のレースがスタートしたら、速やかにコースに進入できる位置で待機しておいてください。

７ 発艇定刻の厳守と発艇について

（1）出漕クルーは発艇定刻２分前までに**所定の発艇位置（ステッキボート）に着かなければなりません。**やむをえない事情がない限り、これに遅れた場合はイエローカードを与えます。艇の故障等で発艇定刻に間に合わない場合、必ず最寄りの審判員に申し出て指示を受けてください。許可なく遅れ、レースに参加できなかったクルーはDNSとなり、以後の全ラウンドに出漕できません。なお、**審判に申し出たとしても、発艇定刻２分前に遅れた、発艇定刻の変更を生じさせた、場合はイエローカードを与えます。**

（2）発艇定刻２分前になったら、いつでも発艇できるように準備し、各クルーの責任で進行方向を定めておいてください。風波等の状況によりクイックスタートで発艇する場合もあります。

８ レース中の注意について

（1）スタート直後を含め、レース中に艇の故障及びオールの破損等が生じた場合でも特別な措置（再レースなどの救済措置）はありません。故障や不具合が生じないように十分に点検しておいて下さい。

（2）すべてのクルーは、自己のレーンを進行し他のレーンを侵害、もしくは他艇を妨害してはなりません。レース中、主審は障害物の出現や他のレーンに侵入して他艇と接触・衝突等の危険が切迫しているクルー、およびレース中の艇の故障やオールの破損により自艇を著しく損傷させる恐れがあるクルーに対し、レース状況によっては白旗を掲げ、「○○止まれ！」等のコールをし、当該クルーのみ競漕を一時中断させることがあります。この場合、主審の指示に従い、危険を回避し、安全を確保した上で競漕に復帰してください。

（3）主審艇がレース状況により、極端に遅れたクルーを追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは波をかぶることもありますが、容赦してください。

９ レース中の転覆・選手の落水について

（1）水温がかなり低い中での大会ですので、シングルスカル選手が転覆・落水した場合、またダブルスカル艇・クォドルプル艇が転覆した場合、危険と判断し即座に救助します。この場合、DNF（途中棄権）となりますが、安全第一、人命優先ですのでご了解ください。

（2）万一の落水時、ストレッチャーから足がすぐに抜けないと危険な状況が想定されます。靴がストレッチャーから脱却するもの以外は、ヒールロープ（踵が水平以上にならない長さでつけられていること）を結んでおき、なおかつ靴ひも、マジック

テープなどを開ける必要がある場合は、漕手が片手で引く簡単な一動作ですぐにシューズから足が外れる状態であることを確認しておいてください。安全にかかわる重大なことですから、これに違反した場合、失格までの罰則を与えます。

10 指導・警告・除外とその取扱いについて

（1）クルーが違反・不正行為等を行った場合、指導や警告（注意・イエローカード・レッドカード）を与えます。同一ラウンド内（レース前の回漕および練習中を含む）でイエローカードを２回与えられるとレッドカードとなり、レッドカードを与えられると除外となります。審判がイエローカード・レッドカードを与えるときは、該当色のカードを提示します。

（2）大会期間中の航行ルールを守らなかった場合（やむをえない状況を除く）、指導や警告を与えます。また、あらかじめ定められていない事柄でも、審判が指導や警告の対象と判断した場合、イエローカードやレッドカードを与えることがあります。

（3）与えられたイエローカードはレース成立で効力を失いますが、その後の回漕中にイエローカードを与えられた場合、次レースがあるときには、そのイエローカードは持ち越すものとします。

（4）予選において、スタート前やスタート直後およびレース中にレッドカードを与えられ除外となったクルーは、敗者復活戦への出場を認めます。この場合、他クルーとの公平を期すため、予選レースで全距離を漕了させます。なお、この際にまじめな態度および正常な競漕速度で漕了しない場合、接触・妨害をおこした場合は失格とします。

11 レース終了後について

（1）決勝線を通過したクルーは、全クルーが決勝線を通過したのちに主審が旗を揚げるまで、付近で待機しておいてください。なお、主審は決勝線手前の位置にあっても旗を揚げる場合がありますから、注視しておいてください。

（2）レースに対する異議がある場合は、主審が旗を揚げる前に手を挙げて主審に申し出てください。主審から白旗が揚がった場合は、レース終了を意味するのでそのまま帰艇桟橋に戻ってください。しかし赤旗が揚がった場合は、レースに何らかの問題があったことを示しますから、その場にとどまって主審の指示を待つようにしてください。

12 その他

無線通信機器（携帯電話・スマホ・トランシーバー等の外部と交信できるもの）の艇内への持ち込みは禁止で、失格となります。ただし許可データ（タイム、ストロークレート、艇速／加速度、心拍数）を収集するために、その機能を有する機器や装置（機能を有する携帯電話・スマホを含む）を持ち込むことは可としますが、レース中（出艇時から帰艇時まで）に外部と交信、データを送受信するなどの目的外使用は厳禁ですので、その場合は失格とします。